

別記様式第1号の3

（記入上の注意） 数字は算用数字を用い、※印欄は記入しないでください。
二級・木造のうち不要の字句を＝線で抹消してください。

実 務 経 歴 証 明 書

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

石川県指定登録機関
一般社団法人石川県建築士会会長 様

株式会社〇〇建築設計事務所
代表取締役所長

証明者

登 録 太 郎

〇〇県知事登録 第〇〇号
〇〇建築士登録 第〇〇号

住所・所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地

電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

担当 (株)〇〇建築設計事務所 〇〇部 免許一郎
TEL 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

免許申請者との関係 申請者が所属する建築士
事務所の開設者

下記の者が申請した二級・~~木造~~建築士免許申請書に添付された実務経歴書は、事実と相違のないことを証明します。

記

1. 免許申請者氏名 **建築 史郎**

2. 建築実務経験

建築実務経験期間の合計： **2** 年 **0** 月

建築実務の内容：

- ・事務所ビル新築工事(鉄筋コンクリート造5階建て、延べ面積2,000㎡)の基本設計の補助を担当。
- ・小学校新築工事(木造3階建て、延べ面積3,000㎡)の基本設計・実施設計の補助を担当。
- ・病院増築工事(鉄筋コンクリート造3階建て、延べ面積2,500㎡)の設計と条件の整理を担当。

備 考

- この実務経歴証明書は、実務経歴書毎に作成すること。
- 使用者その他これに準ずる者が実務経歴書の内容が事実相違ないことを確認したことを証明すること。
- 虚偽の証明を行った場合、証明者は、建築士法上の処分や告発の対象となり得ます。
- 紙の大きさは、日本産業規格 A4 とする。

実務経歴証明書記入例 (②：工事監理に関する場合)

別記様式第1号の3

(記入上の注意) 数字は算用数字を用い、※印欄は記入しないでください。
二級・木造のうち不要の字句を＝線で抹消してください。

実務経歴証明書

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

石川県指定登録機関
一般社団法人石川県建築士会会長 様

株式会社〇〇建築設計事務所

証明者 **登録 太郎**

〇〇県知事登録 第〇〇号
〇〇建築士登録 第〇〇号

住所・所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地

電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

担当 (株)〇〇建築設計事務所 〇〇部 免許一郎
TEL 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

免許申請者との関係 **申請者が所属する建築士
事務所の管理建築士**

下記の者が申請した二級・~~木造~~建築士免許申請書に添付された実務経歴書は、事実と相違のないことを証明します。

記

1. 免許申請者氏名 **建築 太郎**

2. 建築実務経験

建築実務経験期間の合計： **2** 年 **0** 月

建築実務の内容：

- ・専用住宅(木造2階建て、延べ面積 140 m²)の新築工事の工事監理補助を担当。
- ・専用住宅(鉄筋コンクリート造3階建て、延べ面積 200 m²)の新築工事の工事監理補助を担当。
- ・共同住宅(鉄筋コンクリート造 10 階建て、延べ面積 1,500 m²)の新築工事の工事監理補助を担当。

備考

- この実務経歴証明書は、実務経歴書毎に作成すること。
- 使用者その他これに準ずる者が実務経歴書の内容が事実相違ないことを確認したことを証明すること。
- 虚偽の証明を行った場合、証明者は、建築士法上の処分や告発の対象となり得ます。
- 用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とする。

実務経歴証明書記入例（③：建築物の指導監督に関する場合）

別記様式第1号の3

（記入上の注意） 数字は算用数字を用い、※印欄は記入しないでください。
二級・木造のうち不要の字句を＝線で抹消してください。

実務経歴証明書

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

石川県指定登録機関
一般社団法人石川県建築士会会長 様

〇〇株式会社

証明者 **登録 太郎**

〇〇県知事登録 第〇〇号

〇〇建築士登録 第〇〇号

住所・所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地

電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

担当 〇〇株式会社 〇〇部 〇〇課 免許一郎

TEL 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

免許申請者との関係 **申請者が所属する建築士
事務所の所属建築士**

下記の者が申請した二級・~~木造~~建築士免許申請書に添付された実務経歴書は、事実と相違のないことを証明します。

記

1. 免許申請者氏名 **建築 士郎**

2. 建築実務経験

建築実務経験期間の合計： 2 年 0 月

建築実務の内容：

・住宅瑕疵担保責任保険の検査業務において、木造・鉄骨・鉄筋コンクリート造の住宅について、
下記の項目に関する現場検査の補助を担当。（〇件）

- ・木造（基礎配筋、構造部材寸法、筋違寸法、補強金物、防水処理等）
- ・鉄骨造（基礎配筋、構造部材、防水処理等）
- ・鉄筋コンクリート造（基礎配筋、躯体配筋、防水処理等）

備考

- この実務経歴証明書は、実務経歴書毎に作成すること。
- 使用者その他これに準ずる者が実務経歴書の内容が事実相違ないことを確認したことを証明すること。
- 虚偽の証明を行った場合、証明者は、建築士法上の処分や告発の対象となり得ます。
- 用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とする。

実務経歴証明書記入例（④：建築物の調査・評価に関する場合）

別記様式第1号の3

（記入上の注意） 数字は算用数字を用い、※印欄は記入しないでください。
二級・木造のうち不要の字句を＝線で抹消してください。

実務経歴証明書

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

石川県指定登録機関
一般社団法人石川県建築士会会長 様

株式会社〇〇建築設計事務所

証明者 **登録 太郎**

〇〇県知事登録 第〇〇号
〇〇建築士登録 第〇〇号

住所・所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地

電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

担当 (株)〇〇建築設計事務所 〇〇部 免許一郎
TEL 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

免許申請者との関係 **申請者が所属する建築士
事務所の管理建築士**

下記の者が申請した二級・~~木造~~建築士免許申請書に添付された実務経歴書は、事実と相違のないことを証明します。

記

1. 免許申請者氏名 **建築 士郎**

2. 建築実務経験

建築実務経験期間の合計： **2** 年 **0** 月

建築実務の内容：

- ・〇〇レジデンス(共同住宅、鉄筋コンクリート造8階建て、延べ面積 3,000 m²)における定期報告調査業務において、敷地地盤、建物外及び内部、屋上屋根、避難施設等の調査補助を担当。(他〇件)
- ・〇〇ビル(築 40 年の鉄筋コンクリート造4階建て、延べ面積 1,500 m²)における建築物の耐震診断に関する業務において、耐震診断及び構造計算書のチェックの補助を担当。(他〇件)

備考

- この実務経歴証明書は、実務経歴書毎に作成すること。
- 使用者その他これに準ずる者が実務経歴書の内容が事実相違ないことを確認したことを証明すること。
- 虚偽の証明を行った場合、証明者は、建築士法上の処分や告発の対象となり得ます。
- 用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とする。

実務経歴証明書記入例（⑤：施工の技術上の管理に関する場合）

別記様式第1号の3

（記入上の注意） 数字は算用数字を用い、※印欄は記入しないでください。
二級・木造のうち不要の字句を＝線で抹消してください。

実 務 経 歴 証 明 書

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

石川県指定登録機関
一般社団法人石川県建築士会会長 様

〇〇建設株式会社

証明者 **登 録 太 郎**

〇〇県知事登録 第〇〇号

〇〇建築士登録 第〇〇号

住所・所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地

電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

担当 〇〇建設株式会社 〇〇部 〇〇課 免許一郎

TEL 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

免許申請者との関係 **申請者が所属する建築士
事務所の所属建築士**

下記の者が申請した二級・~~木造~~建築士免許申請書に添付された実務経歴書は、事実と相違のないことを証明します。

記

1. 免許申請者氏名 **建 築 士 郎**

2. 建築実務経験

建築実務経験期間の合計： **2** 年 **0** 月

建築実務の内容：

- ・事務所ビル(鉄筋コンクリート造5階建て、延べ面積 1,850 m²)の新築工事における建築一式工事の施工管理のうち、鉄筋工事を担当した。
- ・複合用途ビル(鉄筋コンクリート造7階建て、延べ面積 1,550 m²)の新築工事における建築一式工事の施工管理のうち、鉄筋工事を担当した。

備 考

- 1 この実務経歴証明書は、実務経歴書毎に作成すること。
- 2 使用者その他これに準ずる者が実務経歴書の内容が事実相違ないことを確認したことを証明すること。
- 3 虚偽の証明を行った場合、証明者は、建築士法上の処分や告発の対象となり得ます。
- 4 紙の大きさは、日本産業規格 A4 とする。

実務経歴証明書記入例（⑥：確認審査等に関する場合）

別記様式第1号の3

（記入上の注意） 数字は算用数字を用い、※印欄は記入しないでください。
二級・木造のうち不要の字句を＝線で抹消してください。

実務経歴証明書

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

石川県指定登録機関
一般社団法人石川県建築士会会長 様

〇〇法人〇〇 理事長

証明者 **登録 太郎**

住所・所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地

電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

担当 〇〇法人〇〇 〇〇部 免許一郎

TEL 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

免許申請者との関係 **申請者が所属する法人の代表者**

下記の者が申請した二級・~~木造~~建築士免許申請書に添付された実務経歴書は、事実と相違のないことを証明します。

記

1. 免許申請者氏名 **建築 士郎**

2. 建築実務経験

建築実務経験期間の合計： **2** 年 **0** 月

建築実務の内容：

- ・ **確認審査業務において、確認申請書、その他必要図書の構造審査の補助を担当した。**
(〇件)

備考

- この実務経歴証明書は、実務経歴書毎に作成すること。
- 使用者その他これに準ずる者が実務経歴書の内容が事実相違ないことを確認したことを証明すること。
- 虚偽の証明を行った場合、証明者は、建築士法上の処分や告発の対象となり得ます。
- 紙の大きさは、日本産業規格 A4 とする。

実務経歴証明書記入例（⑦：消防同意等の審査に関する場合）

別記様式第1号の3

（記入上の注意） 数字は算用数字を用い、※印欄は記入しないでください。
二級・木造のうち不要の字句を＝線で抹消してください。

実務経歴証明書

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

石川県指定登録機関
一般社団法人石川県建築士会会長 様

〇〇市消防本部 消防長

証明者 **登録 太郎**

住所・所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地

電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

（担当 〇〇市消防本部 〇〇課 免許一郎
TEL 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇）

免許申請者との関係 **申請者が所属する部署の
所属長**

下記の者が申請した二級・~~木造~~建築士免許申請書に添付された実務経歴書は、事実と相違のないことを証明します。

記

1. 免許申請者氏名 **建築 士郎**

2. 建築実務経験

建築実務経験期間の合計： **2** 年 **0** 月

建築実務の内容：

・〇〇市の建築物において、消防法等の関係法令に基づく、防火に関する規定についての審査補助(〇件)、防火に関する指導補助(〇件)、及び完成建築物等の中間・完了検査補助(〇件)を担当。

備考

- この実務経歴証明書は、実務経歴書毎に作成すること。
- 使用者その他これに準ずる者が実務経歴書の内容が事実相違ないことを確認したことを証明すること。
- 虚偽の証明を行った場合、証明者は、建築士法上の処分や告発の対象となり得ます。
- 紙の大きさは、日本産業規格 A4 とする。

実務経歴証明書記入例（⑧：建築行政に関する場合）

別記様式第1号の3

（記入上の注意） 数字は算用数字を用い、※印欄は記入しないでください。
二級・木造のうち不要の字句を＝線で抹消してください。

実 務 経 歴 証 明 書

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

石川県指定登録機関
一般社団法人石川県建築士会会長 様

〇〇県 〇〇市 〇〇部長

証明者 **登 録 太 郎**

住所・所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地

電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

（担当 〇〇県〇〇市〇〇部〇〇課 免許一郎）
TEL 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

免許申請者との関係 **申請者が所属する部署の
所属長**

下記の者が申請した二級・~~木造~~建築士免許申請書に添付された実務経歴書は、事実と相違のないことを証明します。

記

1. 免許申請者氏名 **建 築 士 郎**

2. 建築実務経験

建築実務経験期間の合計： **2** 年 **0** 月

建築実務の内容：

- ・ 〇〇市の建築物の中間検査（〇件）及び完了検査（〇件）の補助業務を担当。
- ・ 〇〇市の建築物の、長期優良住宅の認定（〇件）及び建築物省エネ法に基づく届出に係る審査（〇件）の補助業務を担当。

備 考

- 1 この実務経歴証明書は、実務経歴書毎に作成すること。
- 2 使用者その他これに準ずる者が実務経歴書の内容が事実相違ないことを確認したことを証明すること。
- 3 虚偽の証明を行った場合、証明者は、建築士法上の処分や告発の対象となり得ます。
- 4 紙の大きさは、日本産業規格 A4 とする。

実務経歴証明書記入例 (⑨：住宅行政に関する場合)

別記様式第1号の3

(記入上の注意) 数字は算用数字を用い、※印欄は記入しないでください。
二級・木造のうち不要の字句を＝線で抹消してください。

実 務 経 歴 証 明 書

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

石川県指定登録機関
一般社団法人石川県建築士会会長 様

〇〇県 〇〇市 〇〇部長

証明者 **登 録 太 郎**

住所・所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地

電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

担当 〇〇県〇〇市〇〇部〇〇課 免許一郎

TEL 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

免許申請者との関係 **申請者が所属する部署の
所属長**

下記の者が申請した二級・~~木造~~建築士免許申請書に添付された実務経歴書は、事実と相違のないことを証明します。

記

1. 免許申請者氏名 **建 築 士 郎**

2. 建築実務経験

建築実務経験期間の合計： **2** 年 **0** 月

建築実務の内容：

- ・〇〇市における木造住宅耐震改修促進事業において、木造住宅の耐震改修費用の補助申請に関する関係書類の審査の補助、及び完了報告書の審査の補助を担当。(〇件)
- ・〇〇市において、特定空き家等の可能性が高い建築物について、現地調査で老朽度や危険度等のチェック等の業務を担当。(〇件)

備 考

- この実務経歴証明書は、実務経歴書毎に作成すること。
- 使用者その他これに準ずる者が実務経歴書の内容が事実相違ないことを確認したことを証明すること。
- 虚偽の証明を行った場合、証明者は、建築士法上の処分や告発の対象となり得ます。
- 紙の大きさは、日本産業規格 A4 とする。

実務経歴証明書記入例 (⑩：都市計画行政に関する場合)

別記様式第1号の3

(記入上の注意) 数字は算用数字を用い、※印欄は記入しないでください。
二級・木造のうち不要の軸を=千で抹消してください。

実務経歴証明書

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

石川県指定登録機関
一般社団法人石川県建築士会会長 様

〇〇県 〇〇市 〇〇部長

証明者 **登録 太郎**

住所・所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地

電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

(担当 〇〇県〇〇市〇〇部〇〇課 免許一郎
TEL 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇)

免許申請者との関係 **申請者が所属する部署の
所属長**

下記の者が申請した二級・~~木造~~建築士免許申請書に添付された実務経歴書は、事実と相違のないことを証明します。

記

1. 免許申請者氏名 **建築 士郎**

2. 建築実務経験

建築実務経験期間の合計： **2** 年 **0** 月

建築実務の内容：

- ・〇〇市街地再開発事業の施設建築物基本計画において、施行区域の建築物の現況調査及び施設の整備計画案(配置、平面、立面)の検討、図面作成等の補助を担当。
- ・〇〇地区土地区画整理事業において、施行区域に建設する共同住宅の整備計画案の検討、移転補償費の算定基礎となる建築物のデータ整理及び現況調査、建築物の移転補償費の概算額の算定等の作業を担当。

備考

- この実務経歴証明書は、実務経歴書毎に作成すること。
- 使用者その他これに準ずる者が実務経歴書の内容が事実相違ないことを確認したことを証明すること。
- 虚偽の証明を行った場合、証明者は、建築士法上の処分や告発の対象となり得ます。
- 紙の大きさは、日本産業規格 A4 とする。

実務経歴証明書記入例 (㊦：教育に関する場合)

別記様式第1号の3

(記入上の注意) 数字は算用数字を用い、※印欄は記入しないでください。
二級・木造のうち不要の字句を＝線で抹消してください。

実 務 経 歴 証 明 書

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

石川県指定登録機関
一般社団法人石川県建築士会会長 様

〇〇県立〇〇工業高等学校 校長

証明者 **登 録 太 郎**

住所・所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地

電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

(担当 〇〇工業高校 〇〇科 免許一郎)
TEL 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

免許申請者との関係 **申請者が所属する高校の
校長**

下記の者が申請した二級・~~木造~~建築士免許申請書に添付された実務経歴書は、事実と相違のないことを証明します。

記

1. 免許申請者氏名 **建 築 士 郎**

2. 建築実務経験

建築実務経験期間の合計： **2** 年 **0** 月

建築実務の内容：

- ・ **〇〇県立〇〇工業高等学校の建築科において、令和2年度に〇年生、令和3年度に〇年生に対して建築計画及び建築設計製図の授業を担当。**
(建築士試験に係る全科目の授業を担当することが可能。)

備 考

- 1 この実務経歴証明書は、実務経歴書毎に作成すること。
- 2 使用者その他これに準ずる者が実務経歴書の内容が事実相違ないことを確認したことを証明すること。
- 3 虚偽の証明を行った場合、証明者は、建築士法上の処分や告発の対象となり得ます。
- 4 紙の大きさは、日本産業規格 A4 とする。

実務経歴証明書記入例 (⑫：研究に関する場合)

別記様式第1号の3

(記入上の注意) 数字は算用数字を用い、※印欄は記入しないでください。
二級・木造のうち不要の字句を＝線で抹消してください。

実務経歴証明書

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

石川県指定登録機関
一般社団法人石川県建築士会会長 様

〇〇大学大学院 〇〇研究科長

証明者 **登録 太郎**

住所・所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地

電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

(担当 〇〇大学大学院〇〇研究科 免許一郎)
TEL 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

免許申請者との関係 **申請者が所属する研究科
の研究科長**

下記の者が申請した二級・~~本造~~建築士免許申請書に添付された実務経歴書は、事実と相違のないことを証明します。

記

1. 免許申請者氏名 **建築 士郎**

2. 建築実務経験

建築実務経験期間の合計： 2 年 0 月

建築実務の内容：

- ・ 建築物に関する調査又は評価に関する研究について、△△市内の歴史的建築物の実測調査及び図面化を行い、その結果を基に第一著者として論文を執筆した。
- ・ 建築物の設計に関する研究について、△△ダンパーを連層配置した高層建築物の地震応答特性を行い、その結果を基に共著者として論文執筆に携わった。
- ・ 建築物の設計に関する研究について、△△施設における温熱環境の多変量解析を行い、その結果を基に共著者として論文執筆に携わった。

備考

- 1 この実務経歴証明書は、実務経歴書毎に作成すること。
- 2 使用者その他これに準ずる者が実務経歴書の内容が事実相違ないことを確認したことを証明すること。
- 3 虚偽の証明を行った場合、証明者は、建築士法上の処分や告発の対象となり得ます。
- 4 紙の大きさは、日本産業規格 A4 とする。

実務経歴証明書記入例 (㊦：インターンシップ等に関する場合)

別記様式第1号の3

(記入上の注意) 数字は算用数字を用い、※印欄は記入しないでください。
二級・木造のうち不要の字句を＝線で抹消してください。

実務経歴証明書

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

石川県指定登録機関
一般社団法人石川県建築士会会長 様

〇〇大学大学院 〇〇研究科長

証明者 **登録 太郎**

住所・所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地

電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

(担当 〇〇大学大学院〇〇研究科 免許一郎
TEL 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇)

免許申請者との関係 **申請者が所属する研究科
の研究科長**

下記の者が申請した二級・~~本造~~建築士免許申請書に添付された実務経歴書は、事実と相違のないことを証明します。

記

1. 免許申請者氏名 **建築 士郎**

2. 建築実務経験

建築実務経験期間の合計： **2** 年 **0** 月

建築実務の内容：

- ・ **〇〇建築設計事務所における建築設計に関するインターンシップを行い、インターンシップ及びインターンシップ関連科目の修得により、大学院が定める所定の単位数 32 単位を取得。**

備考

- 1 この実務経歴証明書は、実務経歴書毎に作成すること。
- 2 使用者その他これに準ずる者が実務経歴書の内容が事実相違ないことを確認したことを証明すること。
- 3 虚偽の証明を行った場合、証明者は、建築士法上の処分や告発の対象となり得ます。
- 4 紙の大きさは、日本産業規格 A4 とする。

実務経歴証明書記入例 (⑭：その他)

別記様式第1号の3

(記入上の注意) 数字は算用数字を用い、※印欄は記入しないでください。
二級・木造のうち不要の字句を＝線で抹消してください。

実 務 経 歴 証 明 書

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

石川県指定登録機関
一般社団法人石川県建築士会会長 様

株式会社〇〇建築設計事務所
代表取締役所長

証明者 **登 録 太 郎**

住所・所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地

電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

担当 (株)〇〇建築設計事務所 〇〇部 免許一郎
TEL 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

免許申請者との関係 **申請者が所属する建築士
事務所の開設者**

下記の者が申請した二級・~~本造~~建築士免許申請書に添付された実務経歴書は、事実と相違のないことを証明します。

記

1. 免許申請者氏名 **建 築 士 郎**

2. 建築実務経験

建築実務経験期間の合計： 2 年 0 月

建築実務の内容：

- ・ 〇〇市の〇〇図書館について、建築物や設備機器の劣化調査や法令等への適合状況の確認を行い、〇〇図書館の改修・保全方法等の検討を行った。
- ・ 〇〇町内の5棟の既存建築物の法令への適合状況や改修の可能性を設計図書を用いて検討したうえで、既存建築物の利活用に関する具体的な方策の検討を行った。

備 考

- この実務経歴証明書は、実務経歴書毎に作成すること。
- 使用者その他これに準ずる者が実務経歴書の内容が事実相違ないことを確認したことを証明すること。
- 虚偽の証明を行った場合、証明者は、建築士法上の処分や告発の対象となり得ます。
- 紙の大きさは、日本産業規格 A4 とする。

■ 申請する実務を行った会社が倒産している場合は、以下の3点をご確認ください。

- 以下の記入例を参考に必要事項をご記入ください。
- 実務経歴書と併せて、当該会社に属していたことを証する書類（源泉徴収票、社会保険加入記録書など）を提出してください。
- 実務経歴証明書の下余白に会社が倒産したことを記してください。また、当該会社に属していたことを証する書類として提出する書類名を記入して下さい。（源泉徴収票、社会保険加入記録書など）

実務経歴証明書 記入例

実務経歴証明書記入例（会社が倒産した場合）

別記様式第1号の3
（記入上の注意） 数字は算用数字を用い、※印欄は記入しないでください。
二級・木造のうち不要の字句を＝線で抹消してください。

実 務 経 歴 証 明 書

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

石川県指定登録機関
一般社団法人石川県建築士会会長 様

株式会社〇〇建築設計事務所

〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地

〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

証明者
住所・所在地
電話番号
免許申請者との関係

申請日を記入

「証明者」は記入不要

「免許申請者との関係」は記入不要

下記の者が申請した二級・~~木造~~建築士免許申請書に添付された実務経歴書は、事実と相違のないことを証明します。

記

1. 免許申請者氏名 **建築 士郎**

2. 建築実務経験
建築実務経験期間の合計： **2 年 0 月**
建築実務の内容：
・事務所ビル（鉄筋コンクリート造5階建て、延べ面積2,000㎡）の基本設計の補助を担当。
・小学校（木造3階建て、延べ面積3,000㎡）の基本設計・実施設計の補助を担当。
・病院（鉄筋コンクリート造3階建て、延べ面積2,500㎡）の設計と条件の整理を担当。

上記の実務を行った株式会社〇〇建築設計事務所は、平成〇年〇月に倒産した。
当該会社に属していたことを証する書類として、●●を提出します。

備考

- この実務経歴証明書は、実務経歴書毎に作成すること。
- 使用者その他これに準ずる者が実務経歴書の内容が事実相違ないことを確認したことを証明すること。
- 虚偽の証明を行った場合、証明者は、建築士法上の処分や告発の対象となり得ます。
- 紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

空白部分に、実務を行った会社の名称、所在地、電話番号※を記入
※所在地・電話番号が不明の場合は、無記入でも構いません

【記入例】

上記の実務を行った株式会社〇〇建築設計事務所は、平成〇〇年〇月に倒産した。
当該会社に属していたことを証する書類として、●●を提出します。

※倒産した日付が不明の場合、日付は記入不要